

## 【組合の概要】

館山銀座商店街振興組合は、J R館山駅東側、南北に延びる古くからの商店街で、安房郡市の文化、経済、商業等交流の場として古くから栄えてきた。購買力の流出に歯止めをかけるべく、昭和59年7月に法人化し、以後活発な商店街活動を行っている。南総里見祭り等の地元で行われる観光イベントには積極的に参加している。近年、商店街単独では平成17年度に千葉県地域連携支援モデル事業を実施し、全国手作り甲冑サミットを開催した。また、平成13年度から18年度までは、商店街の空き店舗対策・商店街活性化策としてチャレンジショップが運営されてきた。今年度は地元の農家と連携し、「里見軽トラ市」を実施している。暫く行っていない年末の共同売出しを実施したい意向である。

## 【理事長会社概要】

有限会社ピース製菓は、角田理事長の義父である先代の角田豊後氏が創業したお菓子の製造販売会社である。豊後氏は子供のころからお菓子屋に丁稚奉公した本格派の菓子職人である。復員後に当地でだんごを作り始めたのがスター

## 館山銀座商店街振興組合 角田吉夫理事長

◎つのだ・よしお 昭和44年3月安房高卒業、4月(株)丸井グループ入社。昭和48年(有)ピース製菓入社。平成11年代表取締役。平成19年館山銀座商店街振興組合理事長。57歳。



### 館山銀座商店街振興組合

所在地 館山市北条1625  
 代表者 角田 吉夫  
 組合員数 116名 出資金 884万円  
 職員数 1名

## 地域資源をいかして街づくり

トであり、店内で食べられるようにと、喫茶兼業の菓子店となった。その後、喫茶は閉めたものの茶菓子、慶弔品、土産用菓子を作ってきた。現在では洋菓子と和菓子を取り扱っている。店名の「ピース」は、二度と戦争が起きぬ様に平和をとの思いから、当時共同

経営の義兄と名付けたとのこと。二代目社長である角田理事長は、昭和48年に先代の娘さんである奥さんと結婚すると同時に当社に入社。それ以前は割賦販売店で営業をしており、全くの異分野への転職。当初はご苦労も多かったはずであるが、精進を重ね平成6年には業界団体である全国菓子大博覧会において角田理事長の作った「びわのしずく」が菓子博栄誉賞を

受賞した。現在では自家店舗での小売のほか、道の駅「びわ俱樂部」等へ卸売も行うようになった。

## 【角田吉夫理事長の横顔】

角田理事長は、商店街での活動歴は長く青年部から理事長になるまで実に30年以上に渡っている。趣味をお伺いしたところギター演奏だそう、それもエレキギター。定期的にバンド練習をし、商店街や市のイベントで演奏をするとのこと、曲はベンチャーズなど60年代のポップスが主流だとか。座右の銘は「誠実」だそう、最近不祥事があった有名老舗店に聞かせたい言葉である。お勧め商品として1月から4月の期間限定で販売する地元館山産の新鮮なイチゴを餅で包んだ「いちご餅」を紹介された。

